

仏事コーディネーター
資格取得者を訪ねて
BUTSUJI-COORDINATOR

JA東京中央セレモニーセンター
ラビスアーク方南（東京）

「資格の効果を実感しています」

遠藤博規氏

JA東京中央セレモニーセンターは東京都内に施設（大田区・杉並区・世田谷区）を展開し、葬祭から仏壇仏具、墓石の販売に至るまで心のこもったサービスを行い、多くの人々に親しまれている。同センターはJA東京中央が100%出資する関連会社として設立され、東京二十三区の南西部を主なマーケットとして年間約八百件を超える葬儀を行う。

いた遠藤博規氏は新潟県の出身、都内の大学を卒業後、同社に就職した。葬儀の仕事を選んだ理由は、実家が生花店を営み、葬儀社と取引のあったことがきっかけだったと話す。また、同社は葬儀をはじめ、色々な企画を行い、多くの顧客から安心と信頼を獲得しており、その辺も同社を選ぶ動機になったという。

今年で入社十年になるが、仕事の殆どは葬儀の業務であり、多忙な日々を送っている。ラビスアーク方南の店長に就任したのは昨年だが、葬儀の仕事が忙しく、仏壇仏具の販売にたずさわる時間は少ないと話す。

仏事コーディネーター資格はすでにゴールドカードに更新、併行して一級葬祭ディレクターも取得している。同社では複数の資格を持つ人は少なくなく、他店との差別化、スキルアップ、モチベーションの維持に資格は欠かせないと遠藤氏は

話す。
今年、仏事コーディネーター資格を受験する方、受験を考えている方に励ましの言葉をお願いした。「資格を持つてい

れば、お客様に信頼されますし、自分を高めることができます。ぜひチャレンジしてください」と多くの受験者にエールを送る。



遠藤博規氏
(JA 東京中央セレモニーセンター ラビスアーク方南)



店舗外観
(JA 東京中央セレモニーセンター ラビスアーク方南)



線香の展示
(JA 東京中央セレモニーセンター ラビスアーク方南)



上置仏壇の展示
(JA 東京中央セレモニーセンター ラビスアーク方南)